

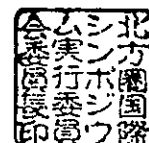
平成 25 年 12 月 27 日

関係各位

紋別市長 宮川 良 一



北方圏国際シンポジウム実行委員会
委員長 小野 哲



拝啓

皆さま ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、紋別市は、平成 26 年 2 月 16 日（日曜日）～19 日（水曜日）北海道紋別市において、第 29 回北方圏国際シンポジウムを開催いたします。

開催案内および申込書を同封させていただきます。貴機関・関係者の方々に広く広報して頂ければ幸いです。

お手数をおかけしますが、よろしく願いいたします。

敬具

北方圏国際シンポジウム事務局
〒094-0031 北海道紋別市海洋公園 1 番地
紋別海洋交流館内
E-mail: momsys@o-tower.co.jp
☎:0158-26-2810
Fax:0158-26-2812

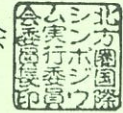
平成25年12月27日

関係各位

紋別市長 宮川 良



北方圏国際シンポジウム実行委員会
委員長 小野 哲



第29回北方圏国際シンポジウム『オホーツク海と流氷』開催のご案内

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当市では昭和61年より、北方圏国際シンポジウム「オホーツク海と流氷」を開催しており、本年度で第29回を迎えることとなりました。

本シンポジウムは、北方圏の産業、経済の発展および生活、文化の創造を目的とし、国内外から多数の学術研究者が参加し、氷海に関わる研究発表や情報交換を行っております。

つきましては、本シンポジウム開催にあたって皆さまのご参加とご協力をよろしくお願い申し上げます。

記

1. 主 催 紋別市
2. 共 催 国立極地研究所
北見工業大学
東海大学北海道キャンパス
東京農業大学オホーツクキャンパス
北極環境研究コンソーシアム
3. 主 管 北方圏国際シンポジウム実行委員会
4. 日 程 平成26年2月16日（日）～2月19日（水）
5. 場 所 紋別市民会館 紋別市潮見町1丁目 ☎：0158-24-2416
紋別市文化会館 紋別市幸町3丁目 ☎：0158-24-2111
6. シンポジウムについてのお問合せ

☎094-0031 紋別市海洋公園1番地 海洋交流館内

北方圏国際シンポジウム実行委員会事務局

☎：0158-26-2810

Fax：0158-26-2812

E-mail: momsyst@o-tower.co.jp

<http://www.o-tower.co.jp/okhsympo/>

(6) ホワイトコンサート「宝田 明と楽しむ夕べ」

日時 2月17日(月) 18:30~20:00
場所 オホーツク流氷科学センター エントランスホール
料金 2,500円 ※ 事前の申込みをお願いします。
出演 宝田 明、沢木 順、松川 裕

(7) 交歓の夕べ「ボランティアと研究者のお食事会」

日時 2月18日(火) 18:30~20:00
場所 紋別セントラルホテル 3階オホーツクの間
会費 3,000円 ※ 当日も参加申込みは可能ですが、事前に申込みをお願いします。

(8) 森から海の連環を考えるシンポジウム ◆道民カレッジ連携講座

日時 2月19日(水) 13:00~15:00
場所 紋別市文化会館 1階ホール
題目 木質バイオマスの活用による資源の循環・・・紋別モデルの可能性について
木質バイオマスとしてのヤナギの可能性について

(9) 市民公開講座 オホーツク～ふるさとの海 ◆道民カレッジ連携講座

日時 2月19日(水) 15:00~17:00
場所 紋別市文化会館 1階ホール
内容 I 今蘇る北大・潜水艇くろしお号の記憶(仮題)
II 来たれ若者よ 水産教育の現場から(仮題)

(10) 市民公開講座「オホーツク海新時代～新たな地域振興の航路図」 ◆道民カレッジ連携講座

日時 2月19日(水) 14:00~16:45
場所 紋別市文化会館 3階サークル室
内容 第1部「情報提供」
・オホーツク海域、圏域の次世代エネルギー資源開発と活用の動向
・ロシア極東アムール地区の北海道寒冷地農法による事業展開とオホーツク海の環境保全
第2部「ワークショップ」

(11) 教育シンポジウム ～中学生の部～ ◆道民カレッジ連携講座

日時 2月19日(水) 9:30~12:00
場所 紋別市民会館 大ホール
内容 ふるさとの自然を学ぶ「紋別ってすごい！」

(12) 子どもと親の流氷シンポジウム ◆道民カレッジ連携講座

日時 2月19日(水) 13:10~14:30
場所 紋別市民会館 大ホール
テーマ 北極と南極とオホーツクの今！
講師 山口 一(東京大学)、中山由美(朝日新聞社)

(13) 教育シンポジウム ～社会教育施設の部～ ◆道民カレッジ連携講座

日時 2月19日(水) 14:00~16:00
場所 紋別市文化会館 3階特別会議室
内容 キッズエネルギーシンポジウムの実施報告(仮題)

(14) オホーツク・テロワールシンポジウム 2014in 紋別 ◇協賛事業

日時 2月15日(土) 13:00~17:00 オホーツク・テロワールフォーラム
16日(日) 9:30~12:30 オホーツク農商工連携支援ビジネスマッチングセミナー

場 所 15日(土)紋別市文化会館 3階特別会議室 16日(日)紋別市民会館 2階会議室
 テーマ もっとオホーツク。魅せるぞ、オホーツクの底チ・カ・ラ！
 -オホーツクの価値を高める食と観光の未来-
 資料代 1,000円

(15) 航空券(団体券)の予約

※ 1月24日(金)までにトップツアーへお申込下さい。

【往路】

ANA 全日空 東京(羽田) → 紋別(オホーツク紋別)

搭乗日	指定便名	区 間 ・ 発着時刻	シンポジウム団体割引片道運賃
2月16日(日)	ANA 845	羽 田 → オホーツク紋別 11:15 13:05	¥25,000

【復路】

ANA 全日空 紋別(オホーツク紋別) → 東京(羽田)

搭乗日	指定便名	区 間 ・ 発着時刻	シンポジウム団体割引片道運賃
2月19日(水)	ANA846	オホーツク紋別 → 羽 田 13:45 15:40	¥18,000

- (1) オホーツク紋別空港～紋別市内間は連絡バス(無料)をご利用下さい。
- (2) 特割等割引サービスおよび紋別フリープランご利用の場合、直接ご本人で手配してください。当方ではお取り扱いできません。また、団体扱い(5名以上)のため、申込が5名以上にならない便につきましては、日程変更もしくは正規運賃での取り扱いとなりますので、ご注意下さい。
- (3) 上記運賃には、羽田空港旅客施設使用料を含みます。
- (4) 取消料については次のとおりです。(搭乗日の前日から起算して)
 ※ 羽田 ↔ オホーツク紋別 13日前～7日前 3,500円, 6日前～前日 6,500円, 搭乗日当日 9,500円
- (5) 往路、復路ともに羽田～オホーツク紋別間は、流氷観光シーズンと重なるため、混雑が予想されます。ご希望便がおり出来ない場合は、代案を提示させていただく場合もあります。

(16) ホテルの予約「2月15日(土)から2月19日(水)までの5泊分」

部屋タイプ	料 金	内 容	申込記号
シングル S	7,350円	一泊朝食付税込	S
ツイン T	6,300円	一泊朝食付税込	T

- (1) ツインルームは、ひとり分の料金です。
- (2) 各ホテル、禁煙室があります。希望される方は申込み用紙にご記入下さい。
- (3) 部屋タイプについては、都合によりご希望に添えない場合もありますのでご了承願います。
- (4) 利用ホテルは下記の3箇所を予定しております。

- ◇ 紋別セントラルホテル 紋別市港町7丁目 ☎: 0158-23-3111
<http://www.mombetsu.co.jp/>
- ◇ 紋別プリンスホテル 紋別市本町7丁目 ☎: 0158-23-5411
<http://www.mombetsu-prince.com/>
- ◇ ホテルオホーツクパレス 紋別市幸町5丁目 ☎: 0158-26-3600
<http://www.op-hotel.com/>

第29回北方圏国際シンポジウム『オホーツク海と流氷』プログラム

内 容	会 場
【北方圏国際シンポジウム記念行事】 2月16日(日) 13:30 ~ 14:30 受付 14:30 ~ 15:20 開会式 15:30 ~ 17:15 特別講演 講演1 中山 由美(朝日新聞社特別報道部) 講演2 川瀬 直也(NHK札幌放送局)	紋別市民会館 大ホール
18:00 ~ 19:30 記念レセプション (3,000円)	3階小ホール
【学術研究発表】 (一般3,000円、学生1,000円) 2月17日(月) 9:00 ~ 17:00 学術開会式、基調講演、学術分科会 ワークショップ 2月18日(火) 9:00 ~ 17:00 学術分科会、特別セッション 2月19日(水) 9:00 ~ 12:00 学術分科会、閉会式	紋別市文化会館 1階ホール 3階特別会議室 3階サークル室
【ワークショップ 油汚染】 (入場無料) 2月17日(月) 10:00 ~ 12:00	紋別市文化会館 3階特別会議室
【氷海の民シンポジウム】 (入場無料) 2月17日(月) 13:30 ~ 16:00	紋別市文化会館 1階ホール
【交歓のタベ】 (3,000円) 2月18日(火) 18:30 ~ 20:00	紋別セントラルホテル 3階オホーツクの間
【森から海の連環を考えるシンポジウム】 (入場無料) 2月19日(水) 13:00 ~ 15:00	紋別市文化会館 1階ホール
【市民公開講座 オホーツク〜ふるさとの海】 (入場無料) 2月19日(水) 15:00 ~ 17:00	
【市民公開講座 オホーツク海新時代〜新たな地域振興の航路図】 (入場無料) 2月19日(水) 14:00 ~ 16:45	紋別市文化会館 3階サークル室
【教育シンポジウム ~中学生の部~】 (入場無料) 2月19日(水) 9:30 ~ 12:00	紋別市民会館 大ホール
【子どもと親の流氷シンポジウム】 (入場無料) 2月19日(水) 13:10 ~ 14:30	
【教育シンポジウム ~社会教育施設の部~】 (入場無料) 2月19日(水) 14:00 ~ 16:00	紋別市文化会館 3階特別会議室
【オホーツク・テロワールシンポジウム 2014in 紋別】 (資料代:1,000円) 2月15日(土) ~ 16日(日)	紋別市文化会館(15日) 紋別市民会館(16日)
【協賛行事】 2月17日(月) 18:30 ~ 20:00 ホワイトコンサート (2,500円)	流氷科学センター エントランスホール
【開催期間中その他の行事】 1月27(月) ~ 2月28日(金) 巡回パネル展「SATREPS 写真展」	多目的ホール

■ **エントリー 一覧** 12月25日現在

1. タイトルは申込書のもので、最終プログラムは、原稿のタイトルを使います。
2. 著者は、代表者のみ載せました。

【**北極の温暖化増幅研究に関する戦略構想：2月17日（月）開催**】

ユーラシア大陸寒冷圏の環境変動と気候への影響

飯島 慈裕 (JAMSTEC)

年代によって異なるシベリアの水蒸気輸送プロセス

大島和裕 (JAMSTEC)

冬季東アジアモンスーンの年々変動と惑星波の変調について

高谷康太郎 (JAMSTEC)

オホーツク海氷分布による冬季低気圧経路の変動について

堀 正岳 (JAMSTEC)

バレンツ海の家氷減少と中緯度大気応答の因果関係について

佐藤 和敏 (総合研究大学院大学 JAMSTEC)

初冬バレンツ海の家氷面積の予測可能性

中野渡 拓也 (北海道大学)

雲解像モデルを用いた北極海低気圧の再現実験

篠田太郎 (名古屋大学地球水循環研究センター)

アンサンブル大気再解析 ALERA2 を用いた 2012 年 8 月北極低気圧の予測可能性に関する観測システム実験

山崎 哲 (JAMSTEC)

北極海上のラジオゾンデ観測網の強化実験

猪上 淳 (国立極地研究所/JAMSTEC)

【**特別セッションー永田豊教授を偲ぶー：2月17日（月）開催**】

親潮とラブラドル海流の水塊過程の比較研究

柏井 誠 (水産海洋研究工房 “親潮屋”)

北太平洋域における海洋データの品質管理

鈴木 亨 (海洋情報研究センター)

夏季の宗谷暖流の流れの構造

松山 優治 (東京海洋大学)

3層モデルを利用した東海（日本海）の深層循環実験

申 弘烈 (韓国 公州大学)

極域における水位観測

道田 豊 (東京大学大気海洋研究所)

【**調整中のセッション**】発表日、時間は1月中旬にプログラムを送ります。

北極データアーカイビングシステム (ADS) による氷海域および沿岸の監視 I

ヌアスムグリ アリマス (国立極地研究所/北見工業大学)

北極データアーカイビングシステム (ADS) による氷海域および沿岸の監視 II

榎本 浩之 (国立極地研究所)

海氷の融解によって引き起こされるメソスケール渦の構造、原因、インパクトに関する研究

永川 圭介 (東京大学工学部)

室内実験における擾乱下での海氷 granular ice の生成・固化過程について

幸田 笹佳（北海道大学大学院環境科学院）

沿岸ポリニヤにおける過冷却水およびフラジルアイスの生成過程についての研究

伊藤 優人（北海道大学 大学院環境科学院）

D L A アルゴリズムによる 3 次元霜華パターン形成シミュレーション

石山 俊彦（釧路工業高等専門学校）

流氷中抵抗増加推定モデルの実船検証

宇都 正太郎（海上技術安全研究所）

道東海域における水塊分布の月別変化

日下 彰（独）水産総合研究センター 中央水産研究所）

北極域と農業生産

松村 寛一郎（関西学院大学）

オホーツク海における春季ブルームの動態把握と海氷との関係について

榎野 誠（東京大学大学院新領域創成科学研究科）

1965 年から 2008 年までの南極海極前線付近における栄養塩と溶存酸素の長期的変動

飯田 高大（国立極地研究所）

全球塩分躍層の分布と季節変動

上野 洋路（北海道大学 大学院水産科学研究院）

Allivibrio fischeri の人工海水中における発光誘導因子

桑原 眸（北九州市立大学大学院・国際環境工学研究科）

北海道サロマ湖に生息するアイスアルジー群集の光損傷と回復について

片山 智代（創価大学）

紋別市オホーツクタワーにおける動物プランクトン群集の季節・経年変化

有馬 大地（北海道大学大学院水産科学院）

流氷来遊期の紋別沿岸の海洋環境の年変動ーガリンコ号による海洋観測調査よりー

葛西 広海（独）水産総合研究センター北海道区水産研究所）

魚類への直接的エサ供給源としての海水の可能性

小島 本葉（総合研究大学院大学）

2012 年秋以降の網走湖産ワカサギの成長不良の要因は何か？

真野 修一（地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 さけます・内水面水産試験場）

北海道東部におけるカラフトマスの最近の資源状況

宮腰 靖之（北海道立総合研究機構 さけます・内水面水産試験場）

ホタテガイに含有するカロテノイド、ペクテノロンのがん予防作用

徳田 春邦（金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科）

サロマ湖におけるホタテラーバの出現状況について

前川 公彦（サロマ湖養殖漁業協同組合）

亜寒帯海域における水産資源の経済的特徴

清水 幾太郎（独立行政法人水産総合研究センター中央水産研究所）

栄養輸送者としての猛禽類

松本 経（北見工業大学）

「北極航路をめぐる研究の進展：2月18日（火）開催」

実運航性能シミュレータ VESTA の開発とその北極海航路への適用

粉原 直人（独立行政法人 海上技術安全研究所）

衛星 A I S を用いた北極海航路航行実態の基本的分析

安部 智久（国土技術政策総合研究所）

確率的ロードマップ法を用いた氷海における衝突回避航路計画

高木 敏幸（釧路工業高等専門学校）

氷海運航におけるヒューマン・ファクター

北川 弘光（海洋政策研究財団）

北極航路利用のための海氷モデリング研究：短期予測に向けて

小野 純（国立極地研究所）

北極海における夏季海氷分布の決定要因：中期予測の改良に向けて

木村 詞明（国立極地研究所/東京大学大学院新領域創成科学研究科）

A high-resolution hindcast study for the Northern Sea Route

ディ シルワー リヤナアラッチ ワルナ アランパッツ（国立極地研究所）

Numerical estimation of channel resistance with model CCGS Terry Fox

松崎 文哉（工学院大学）

Numerical simulation of flow field around ice pieces using particle method

小川 裕紀（工学院大学）

Numerical simulation of ship collision with a single ice floe

鳴原 達也（工学院大学）

「特別講演（ワークショップ油汚染）2月17日（月）開催」

レーダを用いた流水観測の現状と発展

藤吉 康志（北海道大学低温科学研究所）

「海外研究者」

Spektroellipsometry Opportunities in the Monitoring of Aquatic Ecosystems

Ferdenant Mkrtchyan (Institute of Radioengineering and Electronics RAS, Russia)

A Study on the Measurement Techniques of the Physical Properties of Model Ice

Jung-Seok Ha (Korea Institute of Ocean Science & Technology, Korea)

Kinetics and kinematic process action ice field on offshore structures

Vladimir G. Tsuprik (Far Eastern Federal University, Russia)

Pacific Gas Hydrate Belt (western segment)

Renat Shakirov (V.I. Il'ichev Pacific Oceanological Institute, Russia)

Ice road construction for Sakhalin Bays

Anatoliy Polomoshnov (JSC "RN-Shelf-Far East", Russia)

Ice research for Kara Sea

Anatoliy Polomoshnov (JSC "RN-Shelf-Far East", Russia)

Large methane bubbles in Arctic fast ice after temperature waves in sea bottom

Burov Boris (V.I. Il'ichev Pacific Oceanological Institute, Russia)

Relationship between current space-temporal variability and distribution of primary production in the Okhotsk Sea based on satellite data

Lobanova Polina (Department of Oceanology, St. Petersburg State University, Russia)

Oceanological conditions in South Kuril region in saury fishery on the satellite and vessel data in 2010-2012

Yury V. Novikov (TINRO-centre, Russia)